



森とおる NEWS

森とおる 東京都豊島区上池袋 3-46-2
事務所発行 東京都豊島区南大塚 1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-6-12 TEL 03(6912)0135

羽田 新ルート

3月29日 安倍政権が世界一危険な都心低空飛行を強行か

事故が起きたらどうするのか



国土交通省がホームページで公表している騒音測定結果

			最大値	最大値～最大値-2dB
八幡木中学校(川口市)	南風	着陸	70dB	約3秒
岸町公民館(さいたま市)			66dB	約3秒
袋小学校(北区)			73dB	約2秒
赤塚第二中学校(板橋区)			71dB	約4秒
練馬区職員研修所(練馬区)			68dB	約3秒
★千早小学校(豊島区)			★71dB	★約10秒
落合第二小学校(新宿区)			78dB	約2秒
小淀ホーム(中野区)			70dB	約8秒
広尾中学校(渋谷区)			78dB	約2秒
田道小学校(目黒区)			77dB	約4秒
高輪台小学校(港区)			79dB	約9秒
東京都下水道局南都下水道事務所品川出張所(品川区)			79dB	約8秒
東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス(品川区)			76dB	約3秒
東京都下水道局八潮ポンプ所(品川区)			74dB	約4秒
大森第五小学校(大田区)			66dB	約3秒
羽田小学校(大田区)【既存測定局】			83dB	約2秒
国立医薬品食品衛生研究所(川崎市)			94dB	約5秒
第五葛西小学校(江戸川区)			北風	離陸
東京都交通局大島総合庁舎(江東区)				

運行中の520便による飛行確認を実施

国土交通省は羽田新ルートについて、1月から2月にかけて実施した運行中の民間機520便の実機飛行確認が終了し、管制官の手順確認など所要の目標を達成したとして、「3月29日からの運用開始スケジュールに変更はない」と強行姿勢を変えません。

確認期間中はルート直下の住民から「想像以上の音でうるさい」「音も機体も大きくて怖い」といった苦情が相次ぎました。直下ではない豊島区の東側でも「飛行機の音がひっきりなしにズンズン響いて気が休まらない」という不満の声が私に届きました。

騒音結果によると

国土交通省は実機飛行確認による騒音測定結果をホームページで公表しています。左上の表は2月7日の騒音測定結果です。

マスコミは羽田空港に近い港区や、上空約330メートル付近を通過する大井町駅周辺の機体の大きさと騒音問題を取り上げがちですが、機体が侵入してくる埼玉県や東京都北部における騒音もそれほど変わらない大きさです。しかも豊島区千早小学校では71デシベル程度の騒音が約10秒間も続いており、これは他の測定場所よりも突出した長さです。

好天時は豊島区上空を夕方3時間に90便が飛び交い、山手線以上の頻度です。

落下物の危険性

機体からの落下物は国内の主要7空港だけで年間477件(17年11月～18年10月)にのぼります。これは着陸時に車輪を出す際に水塊等が落下することが多く、成田空港では洋上で車

輪を出しているかをチェックしています。都心では大惨事を免れません

すでに、2月2日に豊島区の住民が「飛行確認中の機体からの落下物を目撃した」という記事が現代ビジネスに掲載されています。

危険な急降下は米軍横田基地のため

羽田空港の西側には米軍横田基地があり、米軍が管制する空域の影響で新ルートは決定しました。

さらに新ルートで降下角度を世界標準の3度から危険とされる3.5度に引き上げた理由を、国土交通省は「騒音対策」としますが、専門家は効果は薄いと指摘します。しんぶん赤旗が入手した航空会社の内部文書によると、これは横田空域の影響による急降下であることが明らかになっています。

安倍政権が大企業のために経済効果を最優先し、「海から入って海から出る」という羽田空港の原則を破り人々を危険にさらす新ルート計画は撤回すべきです。